



製品情報



製菓業界

軟包装材およびインク関連規制への懸念増加

技術的課題

キャンディ業界が軟包装材に移行するにつれ、フィルム浸透性と食品の安全性に関する懸念が生まれています。スイス食品包装条例では、このタイプの包装で使用するインクに厳しい規制を設けています。食品における安全性重視は、キャンディ業界、特にその多国籍ブランドに影響を及ぼします。

ビデオジェットの長所

ビデオジェットは菓子製造に使用する軟包装材の技術的要件を把握しています。市場のニーズに対応するため、ビデオジェットは安全性、環境、法律上の規制要件を包括的に満たすよう特別に設計された iQMark™ インクを豊富に取り揃えています。スイス食品包装条例除外一覧に準拠した複数の配合があります。



Videojet iQMark™ シリーズのインクおよび補給品を使用すると、最大のコントラスト比、固着性、稼働時間が得られます。また安全、環境、法的な規制要件を満たすよう、責任を持って設計および製造されています。

軟包装材の増加

米国軟包装協会の調査によると、ブランドオーナー全体の 83% が軟包装材を使用しています。ブランドオーナーの 31% が軟包装材の使用を増やす意向であり、この傾向は今後 5 年以上続く予想されます。¹ 世界のキャンディ業界は、2023 年まで年平均 3.5% の成長率で軟包装材の増加を推進しています。²

包装の浸透性

キャンディ業界でよく使用される包装タイプには、アルミニウム、ホイル、プラスチック、金属などがあります。硬い構造の包装では不浸透性バリアが作られ、インクが包装を貫通して食品に達するのを防ぎますが、最も軟らかい包装材ではインク移りの可能性があります。軟包装材の印字に適切なインクを選択する際には、この浸透の可能性を考慮することが重要です。

スイス食品包装条例

スイス政府が可決したスイス食品包装条例 SR 817³ は、食品包装について世界で最も厳格な基準を定めており、キャンディ業界に大きな影響を与えています。2017 年 5 月 1 日に施行されたこの条例は、食品に浸透し人体に入り込む可能性があるインクなど、食品包装で使用する物質の要件を規定しています。付属文書 2 と 10 に、包装インクの製造に許容される物質が記載されています。包装の構造全体における許容成分が、政府規制に明示的に記載されるのは今回が初めてです。

¹ <https://www.packagingstrategies.com/articles/90259-packaging-outlook-2018-flexible-packaging-overview>

² <https://www.mordorintelligence.com/industry-reports/candy-market>

³ <https://www.blv.admin.ch/dam/blv/en/dokumente/lebensmittel-und-ernaehrung/rechts-und-vollzugsgrundlagen/lebensmittelrecht2017/anhang10-verordnung-materialien-kontakt-lm-gg.pdf.download.pdf/Annex-10-ordinance-fdha-materials-and-articles-intended-to-come-into-contact-with-food-stuffs.pdf>

インクの浸透と軟包装材

包装の構造に加えて、柔軟性のある製品の包装にも同様の注意が必要です。スイス食品包装条例でインクが安全とみなされるのは、以下の条件によってインクの成分が食品に浸透しない場合のみです。

- 包装素材自体が食品に接触しないこと (出荷用外箱や厚紙製の箱など)
- 包装材が不浸透性とみなすことができること (ガラスや金属など)
- その他のテストまたはモデルデータで浸透しないことが確認されること

多くの軟包装材タイプは、これらの条件を満たさない可能性があり、規制で許容された物質のみが使用されているインクが必要になります。

キャンディ業界への影響

近年、政府規制および業界標準の数が増え、これまで以上に厳しくなっています。多国籍ブランドはこうした新しい条例に準拠する必要があるため、その他の多くのブランドも追従して最善慣行を導入し、消費者の安全確保に努めることが予測されます。



大切なこと

法的な規制要件と同様に、包装のトレンドが急速に変化しています。ビデオジェットは、これらの変化に後れを取らないように努めており、お客様とその消費者ごとに異なるニーズに対応する製品を開発しています。Videojet iQMark™ 認定のインク製品および補給部品製品を使用すると、最大のコントラスト比、固着性、稼働時間が得られます。また安全、環境、法的な規制要件を満たすよう設計および製造されています。また当社の専門知識をもとに、お客様のニーズに最適な印字ソリューションの選択、テスト、実装をサポートします。

iQMark™ 認定製品の詳細については、当社の担当者にお問い合わせください。



TEL: 0120-984-602

Email info.japan@videojet.com

URL: www.videojet.co.jp

ビデオジェット社
〒135-0064 東京都江東区青海 2-5-10
テレコムセンタービル 西棟 6F

© 2018 Videojet Technologies Inc. All rights reserved.

ビデオジェット社は常に製品の品質向上をめざしており、お客様への予告なく設計や仕様を変更する場合がありますので、ご使用に際しては最新の情報をご確認ください。

